

### 3. 生涯学習に対するイメージ

図4は、市民の「生涯学習」のイメージをみたものである。

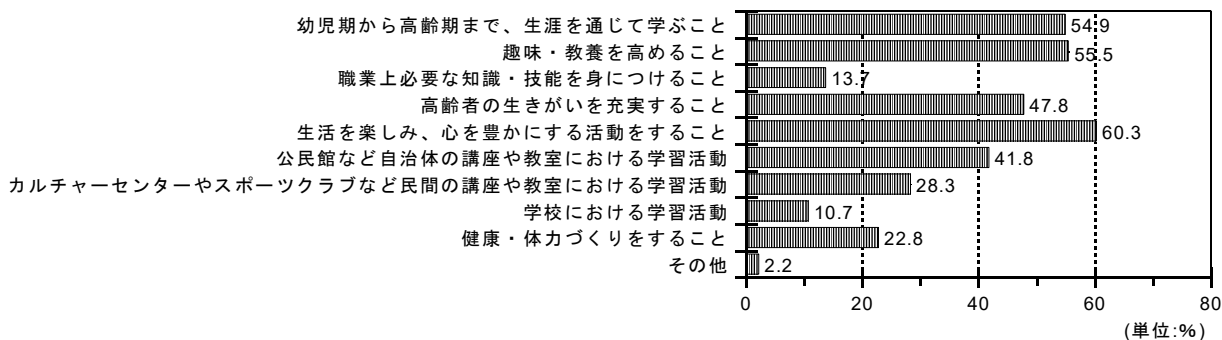


図4 生涯学習に対するイメージ

その結果、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」と回答した人の率が60.3%でもっとも高く、次いで「趣味・教養を高めること（55.5%）」、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと（54.9%）」の順となっていた。

これを、性別にみたのが図5である。

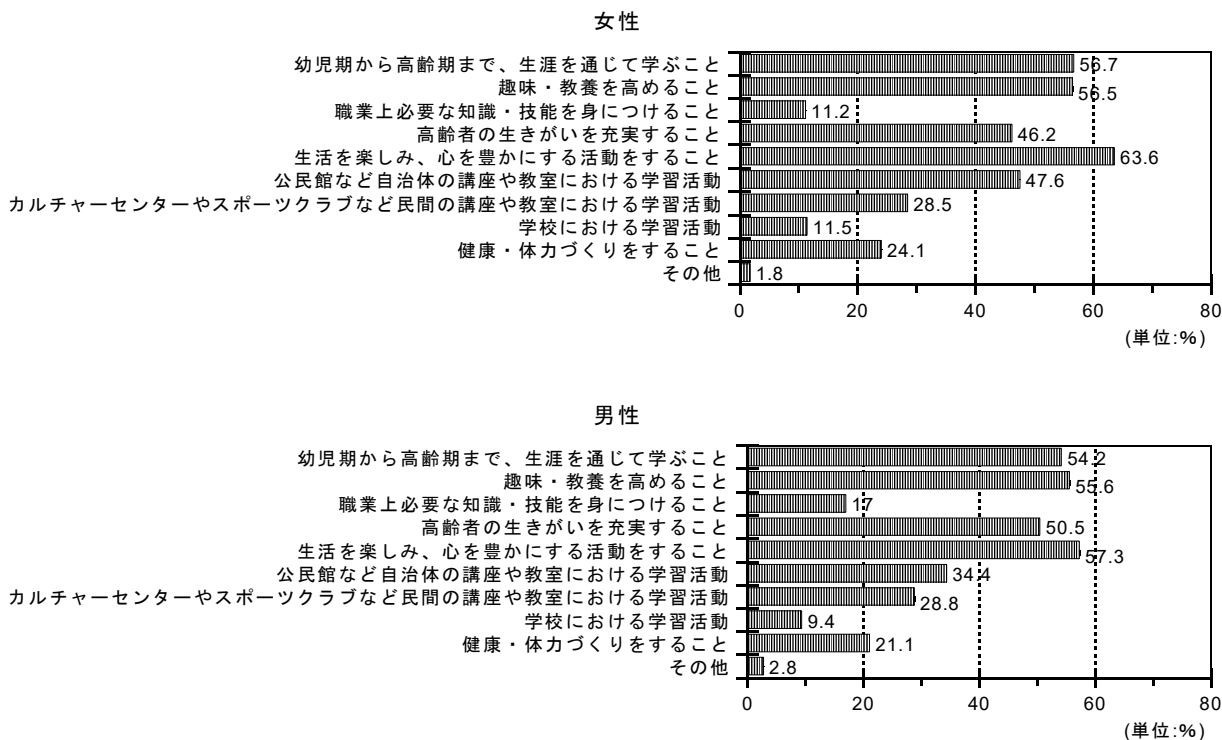


図5 性別にみた生涯学習に対するイメージ

その結果、男女とも「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」と回答した人の率もっとも高いことは共通していたが、次いで「女性」では「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと（56.7%）」、「趣味・教養を高めること（56.5%）」の順、「男

性」では「趣味・教養を高めること（55.6%）」、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと（54.2%）」の順となっていた。

また、男女で比較すると、「公民館など自治体の講座や教室における学習活動」で「女性」の率が高くなっていた。

次に、年代別にみたのが図6である。

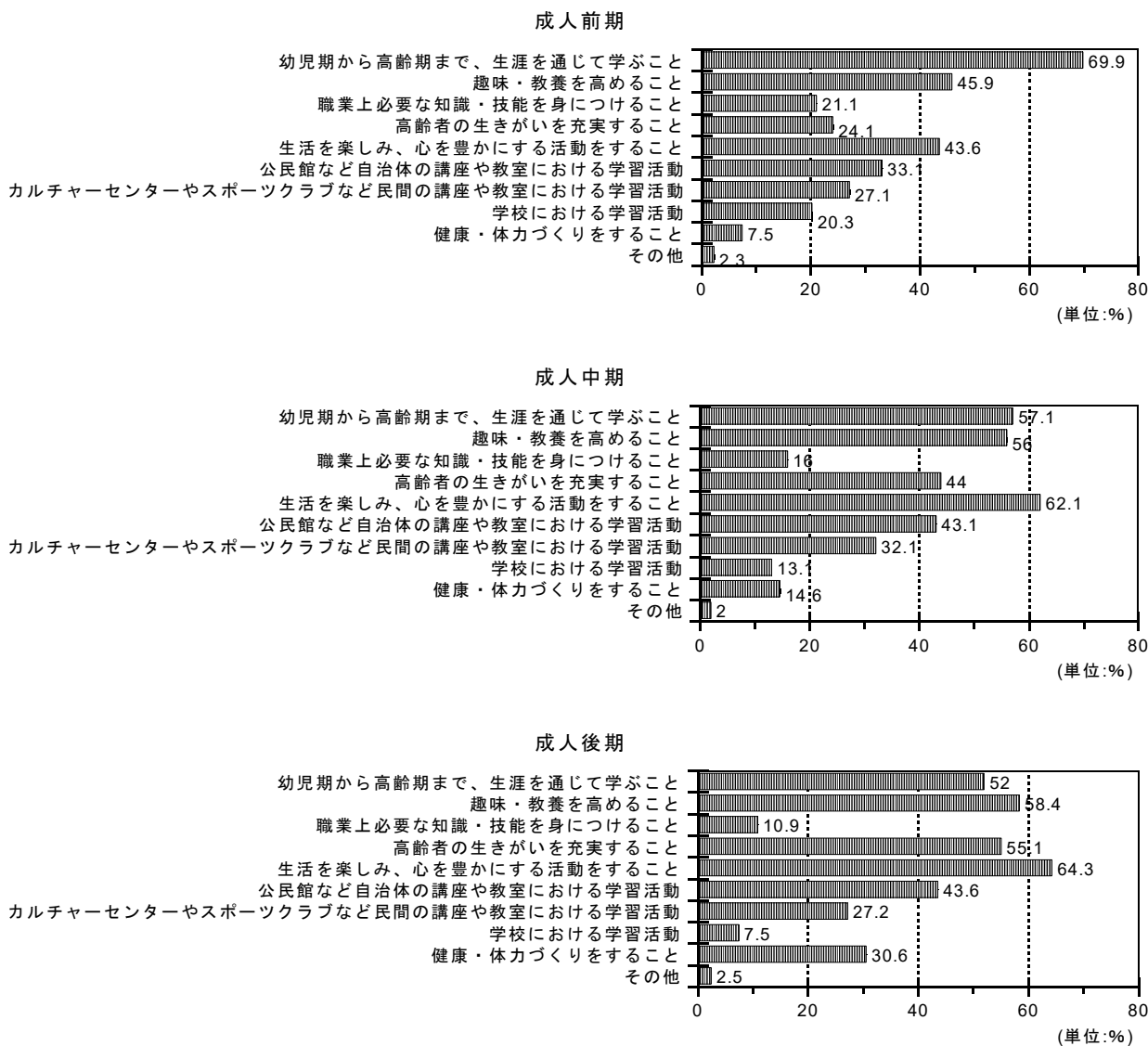


図6 年代別にみた生涯学習に対するイメージ

その結果、「成人前期」の人では「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」と回答した人の率もっとも高く、次いで「趣味・教養を高めること」、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」との順となっていた。「成人中・後期」の人では「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」と回答した人の率もっとも高いことは共通していたが、次いで「成人中期」の人では「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」、「趣味・教養を高めること」の順、「成人後期」の人では「趣味・教養を高めること」、「高齢者の生きがいを充実すること」の順となっていた。

また、年代で比較すると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」では「成人前期」の人の、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」と「趣味・教養を高

めること」では「成人中・後期」の人の、「健康・体力づくりをすること」と「高齢者の生きがいを充実すること」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。